



# 令和元年度第1回 鹿部町「対話ミーティング」

---

令和元年6月10日(月)14時00分～  
令和元年6月13日(木)15時00分～  
令和元年6月14日(金)18時00分～  
令和元年6月15日(土)10時00分～  
令和元年6月17日(月)18時00分～  
令和元年6月19日(水)16時00分～

中央公民館  
大岩地域会館  
ロイヤルホテルみなみ北海道鹿部  
本別中央会館  
鹿部会館  
出来潤会館

# ■はじめに……

「対話ミーティング」とは

町民皆さまとの  
意見交換

ご提案

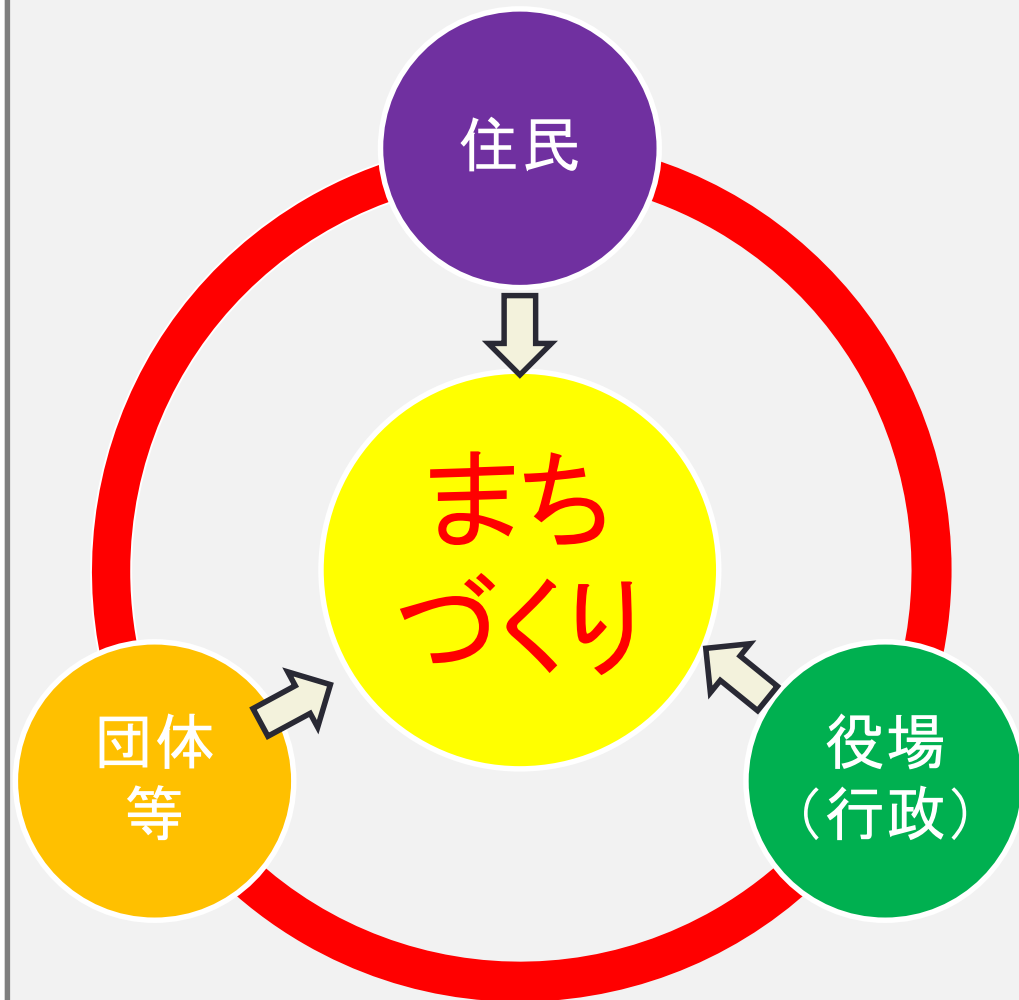
ご意見

ご要望

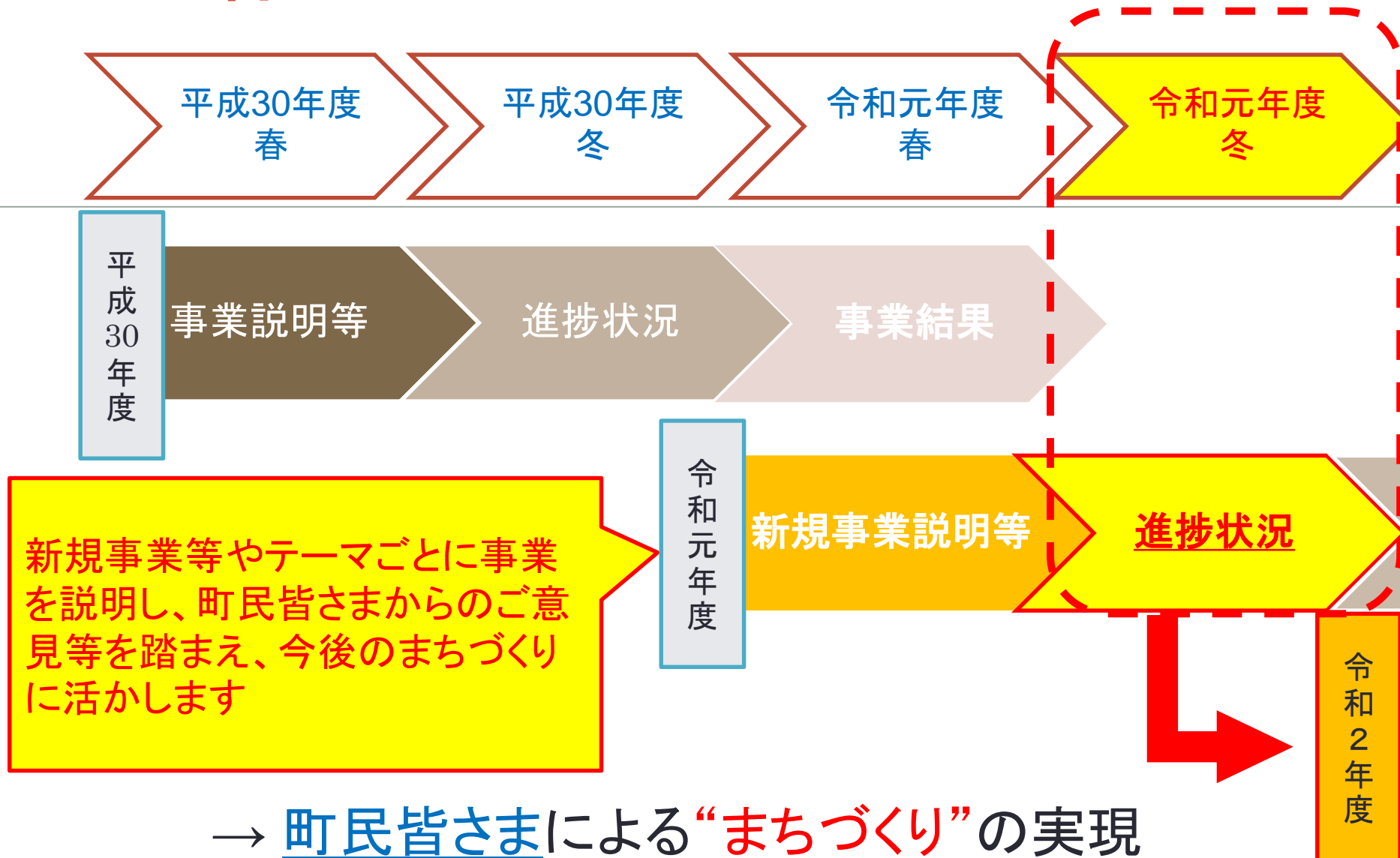
町民皆さまによる  
“まちづくり”へ

目指す“まちづくり”の形

町民



# ■対話ミーティングのこれから



## ■本日説明する事業

部署名	令和元年度事業等
民生課	●鹿部町合葬式墓地整備事業
保健福祉課	●生活支援体制整備事業 ●産婦健康診査の公費負担
水産経済課	●山村活性化対策事業 ●鹿部町中小企業チャレンジ支援事業補助金
食と観光推進室	●道の駅しかべ間歇泉公園施設管理運営業務
建設水道課	●宮浜中央団地A棟外部改修工事
総務・防災課	●鹿部町役場新庁舎建設

# ■令和元年度 新規事業等について

# 鹿部町合葬式墓地整備事業

使用受付は10月1日以降の予定

正面イメージ



## ○施工期間

令和元年6月から9月まで

## ○設置予定場所

鹿部墓地内(旧火葬場跡地付近)

## ○使用できる要件

- ・ 鹿部町に住所又は本籍を有する(有していた) 方が 焼骨を埋蔵する場合
- ・ 鹿部町が管理する墓地に埋蔵されている焼骨 を埋蔵する場合  
(使用中の墓地を町に返還することが条件)

## ○使用料

- ・ 焼骨1体 50,000円
- ・ 焼骨2体以上 100,000円
- ・ 記名板(任意)使用料 20,000円(プレート及び刻字費用他実費)

# 生活支援体制整備事業

7月から開始予定

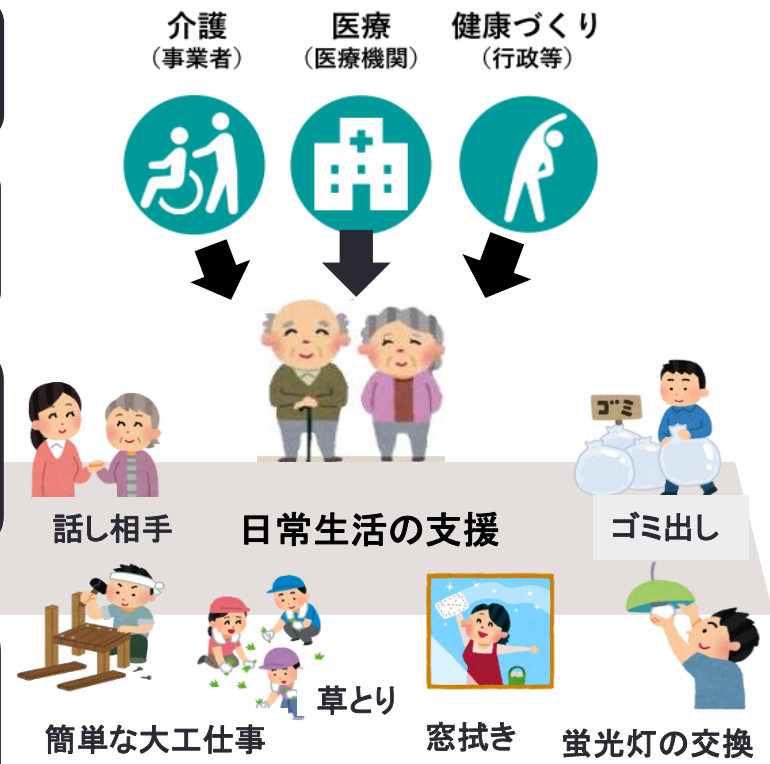
## 地域全体で高齢者の生活を支える体制づくり

生活支援コーディネーターを中心に協議体と連携をとりながら、ニーズの高い支援を話し合う

○支援を利用できる方  
原則75歳以上の独居及び高齢者夫婦の住民

○生活支援コーディネーター  
協議体と協力しながら、地域の様々な活動をつなげ、組み合わせる調整役

- 協議体  
地域の多様な主体がメンバーとなり話し合う仕組み
- 町内会
  - 老人クラブ
  - NPO ボランティア
  - 民生・児童委員
  - 社会福祉法人
  - 鹿部町
  - 鹿部町社会福祉協議会
  - 地域包括支援センター
  - その他必要な団体



生活支援コーディネーターが調整

ボランティアの「力」と「協力」

# ■産婦健康診査の公費負担

産後うつ予防や新生児への虐待予防を図り、産後の健康管理の維持向上を目的として実施

## 公費負担による拡充イメージ

### ①対象者

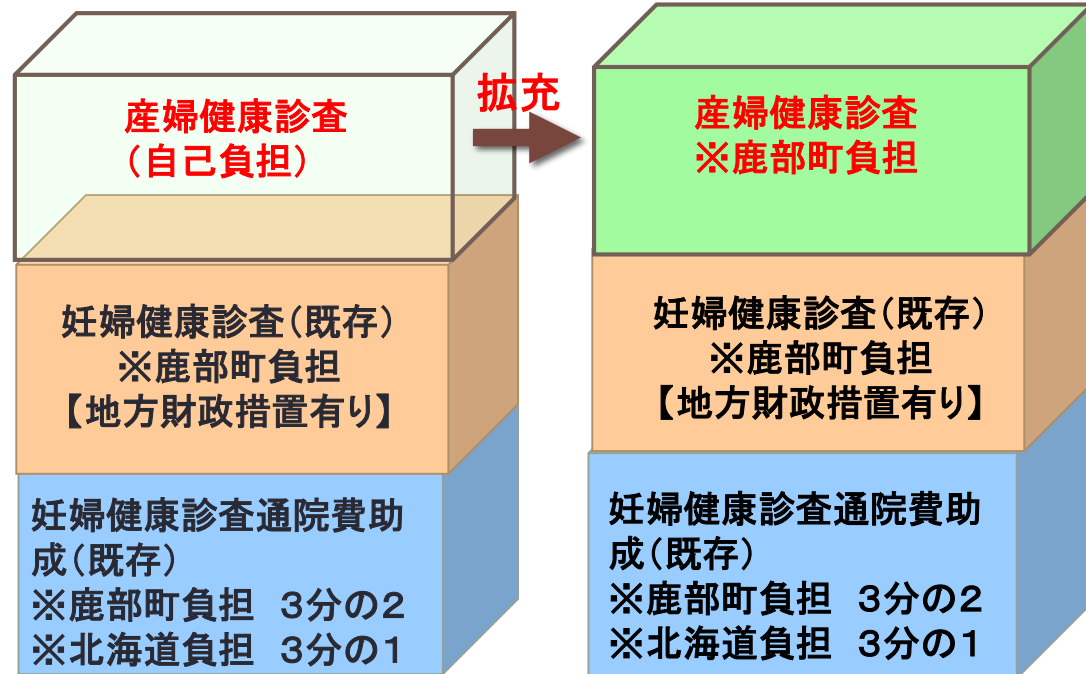
出産後間もない産婦

### ②利用時期と回数

産後2週間目及び産後1か月目の2回

### ③健康診査の内容

健康診断  
産後うつの相談



平成30年度

令和元年度4月から



# ■山村活性化対策事業

3ヶ年計画

農林水産業及びその基盤となる農山村の振興を図るための取組に対し重点的に国が支援

- ・事業実施は、原則3年間を上限
- ・助成額の上限は、各年度1,000万円

## ①地域資源の賦存状況・利用形態等の調査

- ・水産加工事業者ヒアリングによる未活用資源について整理
- ・栽培に適した山菜の選定、苗供給のため採取、半栽培拠点の設定
- ・普及のための山菜類の半栽培化マニュアルを作成



保存保管

品質維持等

## ②地域資源を活用するための合意形成、組織づくり、人材育成

- ・研究会を発足、料理専門家等の指導による水産加工品の共同レシピ開発
- ・水産加工品試作品の量産化に向けた加工試験
- ・長期保存方法などの検討による、原材料としての山菜の加工方法の選定
- ・レシピ開発のための「食の学校」プログラム開発、体制構築
- ・町内イベントを活用した水産加工試作品の消費者モニター調査実施

# 鹿部町中小企業チャレンジ支援事業補助金

町内の中小企業者が経営力向上のために行う事業の経費に対し補助金を交付する

今年度は5月31日で終了

## ○対象事業者

町内に事務所又は事業所を有し、町税等を完納している中小企業者

## ○対象事業

- (1) 設備投資事業(事業用施設新築、事業用備品購入等)
- (2) 人材確保事業(雇用数の増に係る必要経費)

## ○交付決定方法の変更

【前年度】:先着順による交付決定



過年度交付実績



事業内容・効果



経営状況



【今年度】:事業内容や効果のほか、補助実績や経営状況等を総合的に判断し、予算の範囲内において交付決定する

# 道の駅しかべ間歇泉公園施設管理運営業務

民間の能力を活用し、質の高いサービスの提供やコスト削減、効率的な運営を図るため、指定管理者制度を導入

○指定管理者 株式会社 シカベンチャー

○指定管理期間 平成31年4月～令和4年3月

## ○基本方針

- 1 鹿部町の観光・産業を牽引する道の駅となる
- 2 お客様が鹿部町のファンになってしまうような「ユーザー体験」を提供する
- 3 「域外」から外貨を稼ぐ「目的地」となる道の駅にする
- 4 地域の魅力を発掘・磨き上げて・発信する
- 5 道の駅事業を通じて、町財政への貢献をする
- 6 外部専門家チームの知見を集め、活用し、スピードを重視した運営をする
- 7 収益は積極的に再投資し、持続的に収益を上げ続ける仕組みをつくる

まずは、お客様視点の「お買い物」

- ・特産物を目立つ位置へ移動
- ・ガイドポールで、人の流れを整理
- ・POPでおすすめ商品の紹介
- ・売れ筋商品の表示
- ・各種案内表示の増設
- ・ギフトセットの作成



# ■宮浜中央団地A棟外部改修工事

管理開始20年目をむかえ、長寿命化を図るため、今年度から4カ年の計画で4棟の外部改修を行う予定

## ○改修内容

屋上防水の改修と外壁塗装改修を実施

- ・屋上防水 (449㎡)
- ・外壁塗装 (1,164㎡)

## A棟(平成11年度建設)

- ・構造:RC造3階建
- ・延べ床:1,248.935㎡
- ・屋上:アスファルト防水
- ・外壁:マスチック塗装
- ・戸数 1LDK 5戸  
2LDK 8戸  
3LDK 2戸

合計 15戸

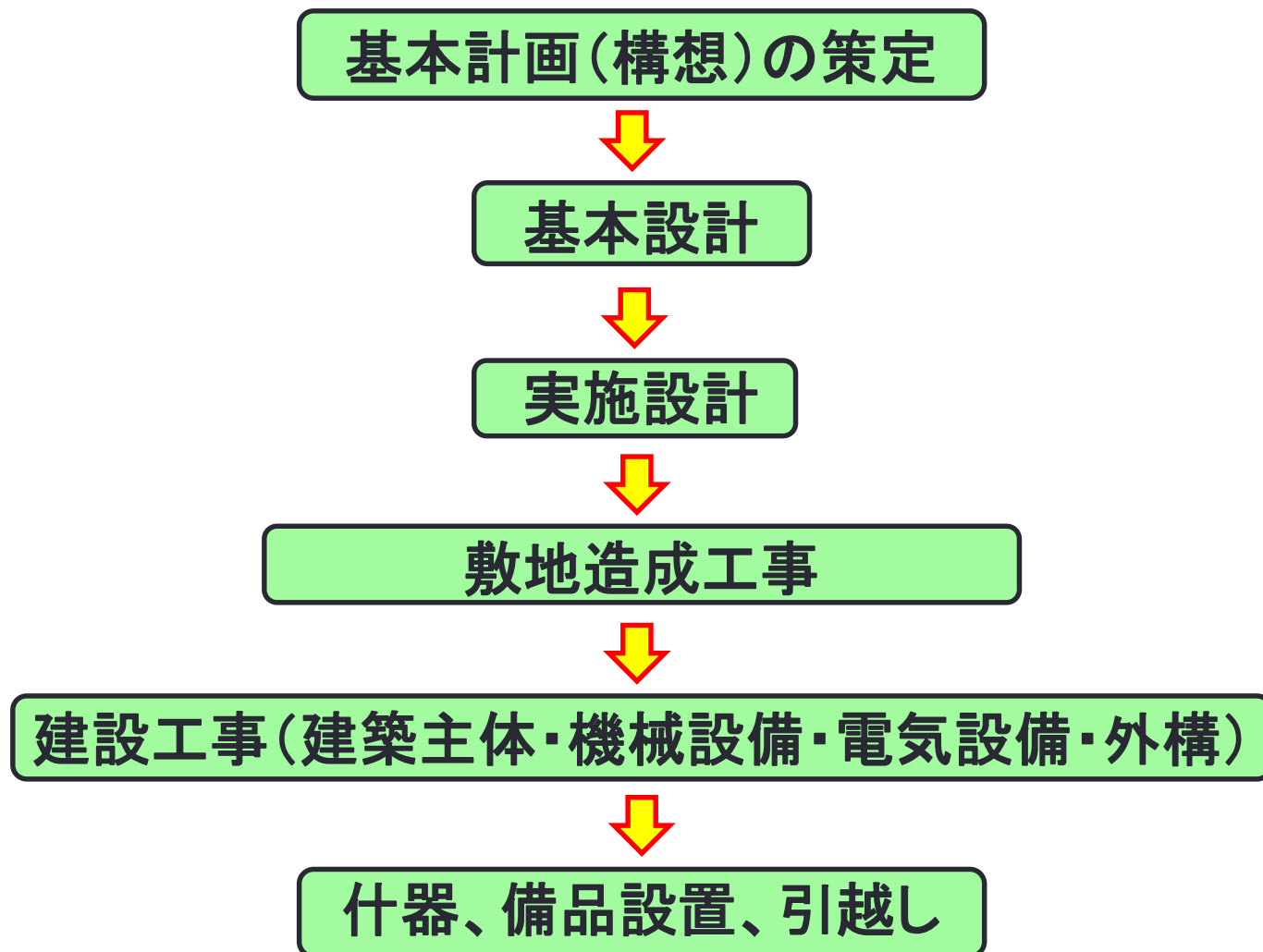


# ■役場新庁舎建設について

## はじめに（背景・経緯）

- 役場庁舎及び消防庁舎は、旧耐震基準で建設され、耐震性不足であり、かつ、津波浸水域に位置しており、防災拠点としての施設整備が急務である。
- 庁舎整備に係る財源については、最も有効である「緊急防災・減災事業債」を活用し、令和2年度末の完成を目標として進めている。
- しかし、消防庁舎については、出動態勢を整えるため、バイパスに面して庁舎を配置する必要があり、民地買収が絶対条件となり、役場庁舎との同時進行は困難であるとした。
- 現在役場庁舎の基本計画を策定中であり、庁舎に求められる主要な機能、配置部署及び職員数（議会含む）、施設規模（面積）、必要となる部屋（スペース）、駐車場の台数（公用車、来庁者、職員）、発注方法、将来的に何が附帯し、集約していくのかなどについて、検討を進めている。
- 基本計画を策定後、基本設計、実施設計、建設工事へと移行していく。

# 役場庁舎建設の流れ



# 議会及び町民との関わり方

	役 場	議 会	町 民	その他
基本計画 (構想)	策定委員会 (コアグループ)	適宜	対話ミーティング	・規模や発注方法 の検討
基本設計	検討委員会 (作業部会)	適宜	対話ミーティング (町民説明会)	・庁内組織の検討 ・維持管理計画
実施設計	検討委員会 (作業部会)	適宜	対話ミーティング (町民説明会)	
建設工事	総務・防災課 建設水道課 ※関係部署と随 時調整	適宜	対話ミーティング (町民説明会)	・現場見学会 ※工事中1回程 度
				・建物見学会 ※完成時



# いま、検討していること

## ○基本計画(構想)

- ・新庁舎に求められる主要な機能(窓口機能、執務機能、防災対策機能など)
- ・配置部署及び職員数
- ・概略の延床面積
- ・必要となる部屋(スペース)
- ・駐車場の台数(来庁者、公用車、職員など)
- ・発注方法

### 例えば

窓口機能では、

- ・待合スペースについて
- ・案内機能について
- ・オープンスペースについて

執務機能では、

- ・文書管理機能について
- ・情報通信機能について
- ・セキュリティ機能について

職員ワークショップなどで検討しています。



# 今後、検討していくこと

	検討事項
基本設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンセプトの決定</li> <li>・仕様及び必要設備の設定</li> <li>・意匠の検討</li> <li>・概算工事費の検討</li> <li>・省エネ、維持管理コストの検討</li> </ul>



	検討事項
実施設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本設計の具現化</li> <li>・機能や意匠などの詳細検討</li> <li>・工事費、ランニングコスト</li> <li>・什器(備品)や情報設備業者との調整</li> <li>・工事着手から移転までのスケジュール</li> </ul>



	検討事項
建設工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内外装などの色彩の決定</li> <li>・各種機器の選定など</li> </ul>

	検討事項
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・什器類の決定及び購入</li> <li>・防災行政無線や情報機器の切り替え</li> <li>・移転作業調整</li> </ul>

# 新庁舎完成までの全体スケジュール

	令和元年度						令和2年度			
	4月	6月	7月	11月	12月	3月	4月	5月	11月	3月
基本計画	← 3ヶ月 →									
基本設計			← 5ヶ月 →							
実施設計				← 5ヶ月 →						
建設工事							← 12ヶ月 →			
外構工事									← 5ヶ月 →	

# 配置計画(例)

